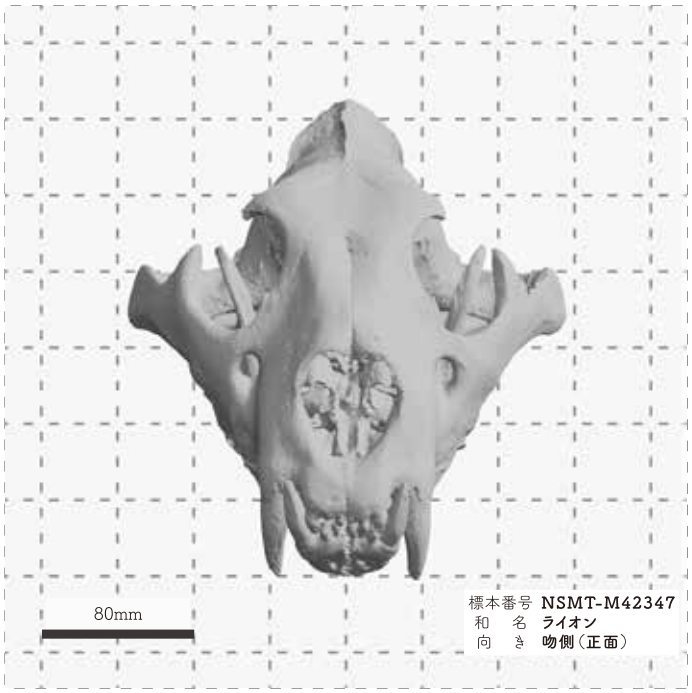
立体標本™ の観察用ワークシート

観察日　　年　　月　　日

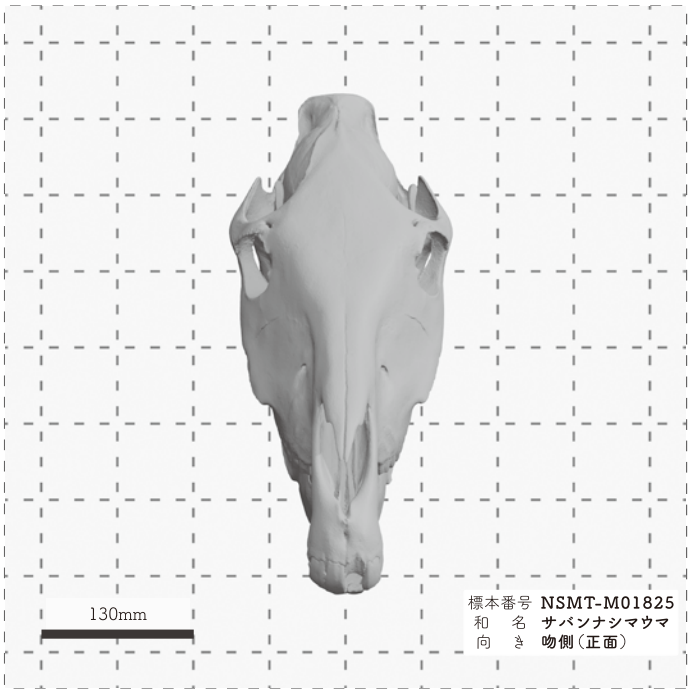
観察者の名前

和名と標本番号

ライオン
NSMT-M42347



サバンナシマウマ
NSMT-M01825



観察内容

© 般社団法人路上博物館 2021

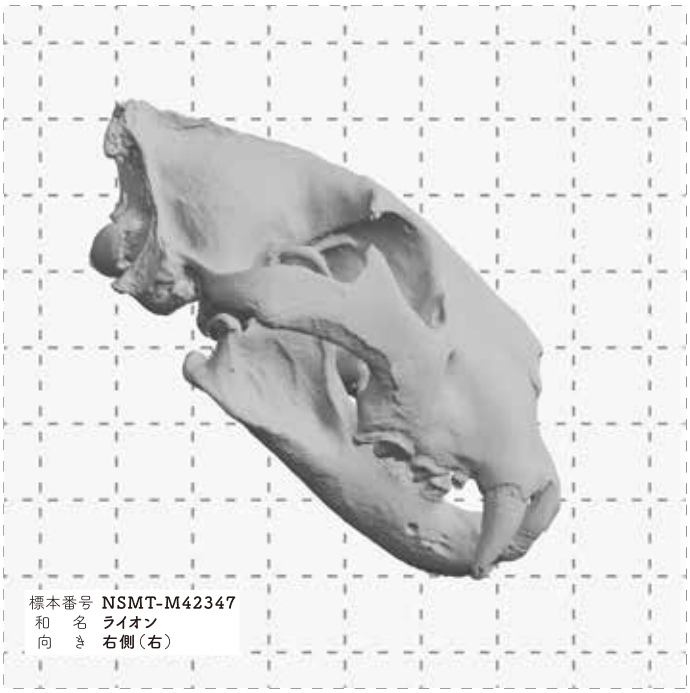
立体標本™ の観察用ワークシート

観察日　　年　　月　　日

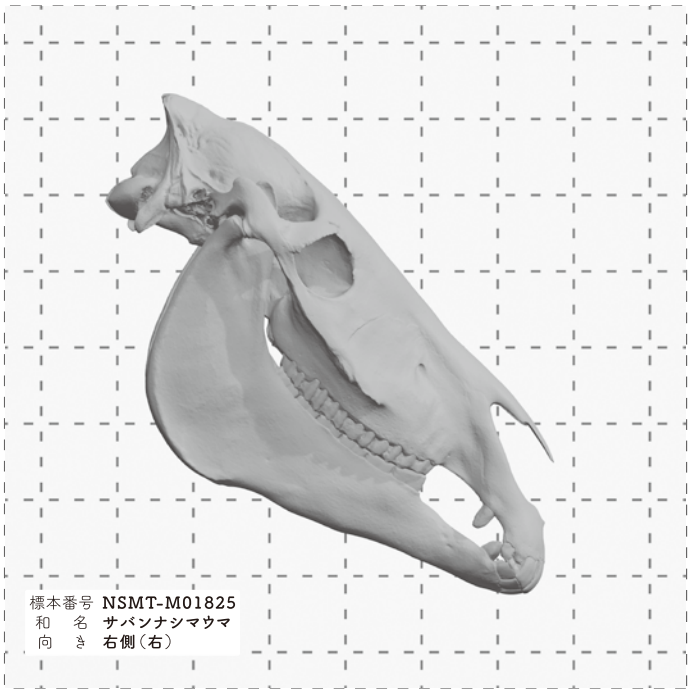
観察者の名前

和名と標本番号

ライオン
NSMT-M42347



サバンナシマウマ
NSMT-M01825



観察内容

© 般社団法人路上博物館 2021

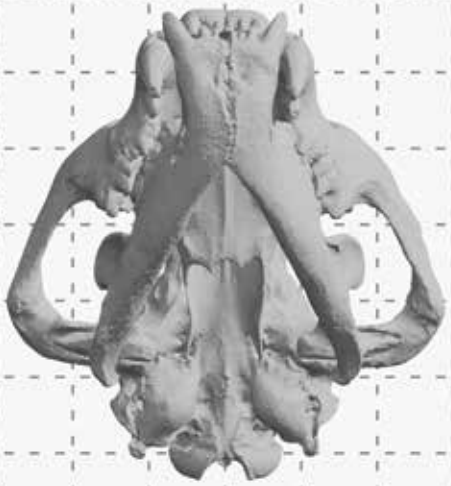
立体標本™ の観察用ワークシート

観察日　　年　　月　　日

観察者の名前

和名と標本番号

ライオン
NSMT-M42347



標本番号 NSMT-M42347
和　名 ライオン
向　き 腹側（下）

サバンナシマウマ
NSMT-M01825

標本番号 NSMT-M01825
和　名 サバンナシマウマ
向　き 腹側（下）

観察内容

© 般社団法人路上博物館 2021

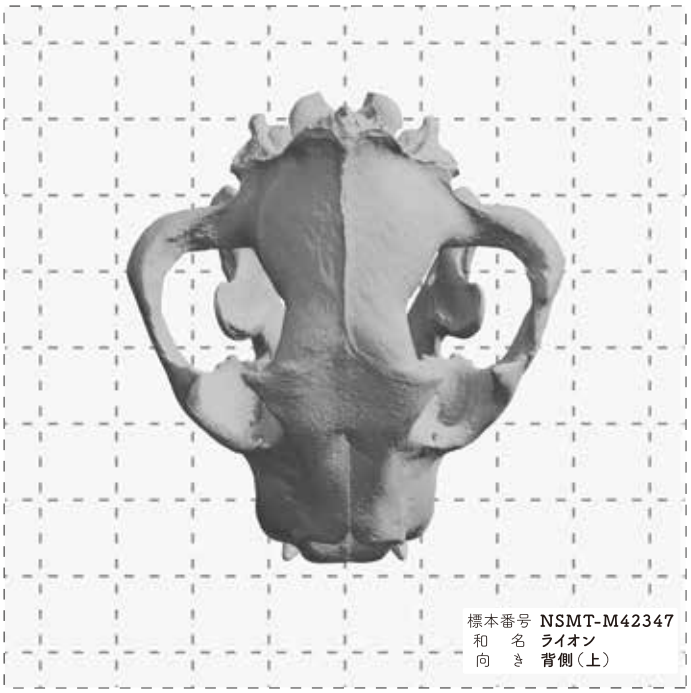
立体標本™ の観察用ワークシート

観察日　　年　　月　　日

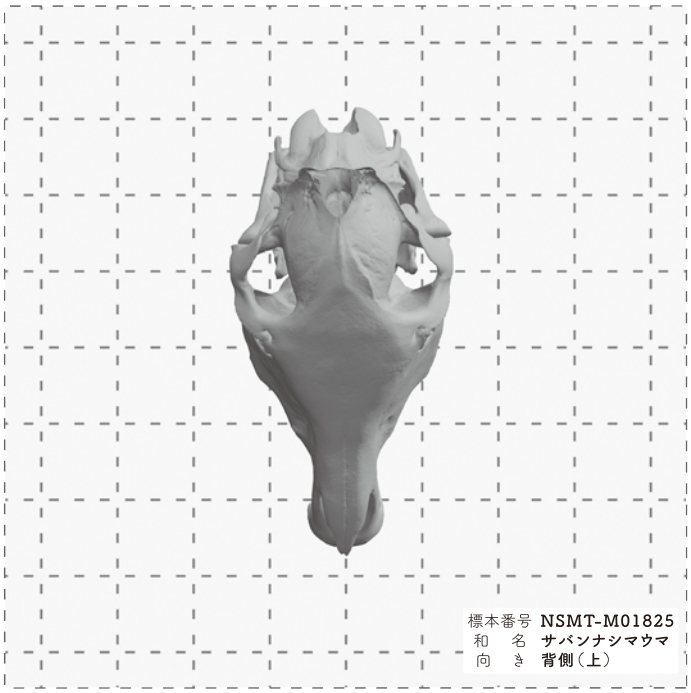
観察者の名前

和名と標本番号

ライオン
NSMT-M42347



サバンナシマウマ
NSMT-M01825



観察内容

© 般社団法人路上博物館 2021

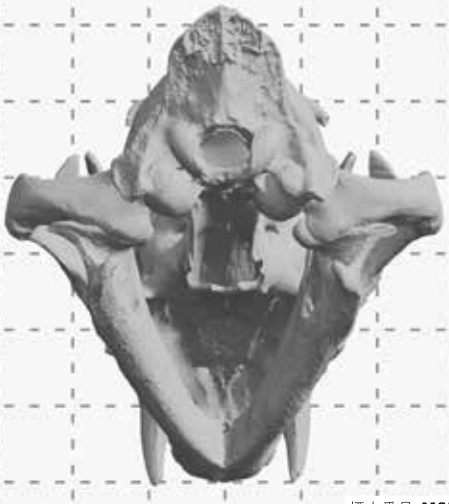
立体標本™ の観察用ワークシート

観察日　　年　　月　　日

観察者の名前

和名と標本番号

ライオン
NSMT-M42347



標本番号 NSMT-M42347
和　名 ライオン
向　き 尾側（後）

サバンナシマウマ
NSMT-M01825

標本番号 NSMT-M01825
和　名 サバンナシマウマ
向　き 尾側（後）

観察内容

© 般社団法人路上博物館 2021

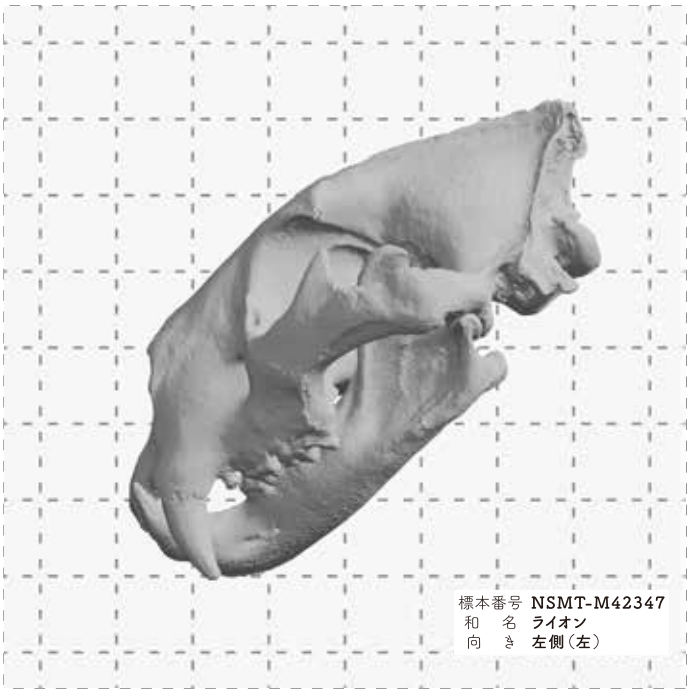
立体標本™ の観察用ワークシート

観察日　　年　　月　　日

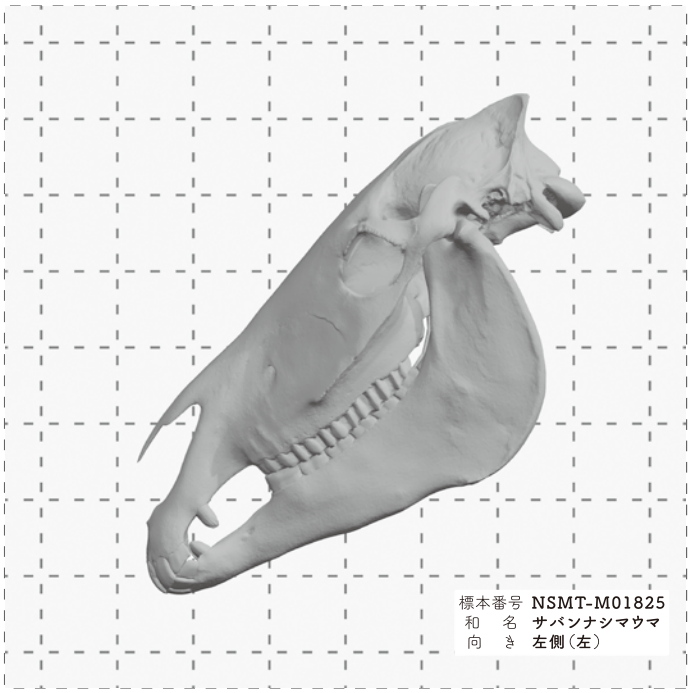
観察者の名前

和名と標本番号

ライオン
NSMT-M42347



サバンナシマウマ
NSMT-M01825



観察内容

© 般社団法人路上博物館 2021

立体標本™ の観察用ワークシート

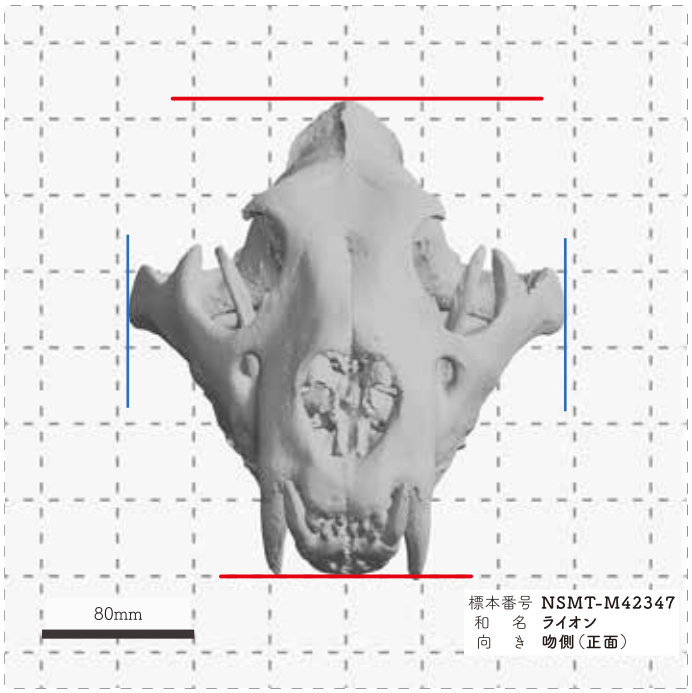
サンプル

観察日　　年　　月　　日

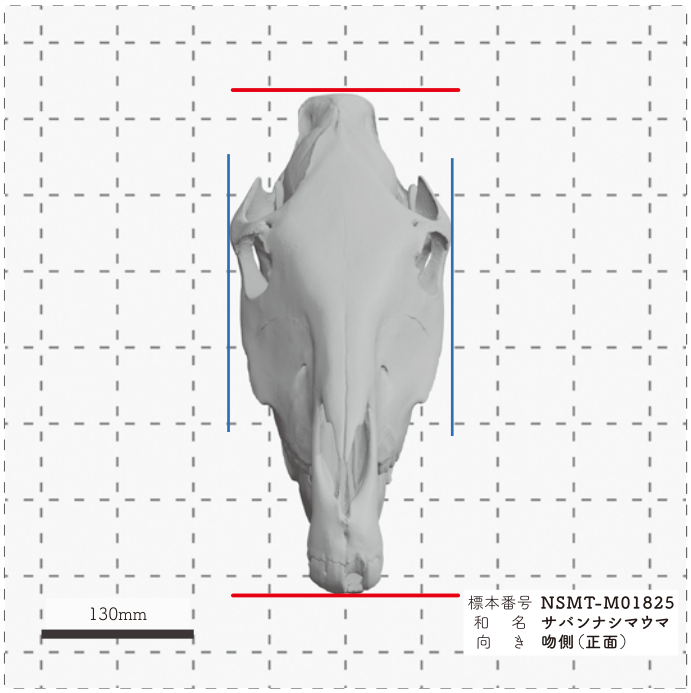
観察者の名前

和名と標本番号

ライオン
NSMT-M42347



サバンナシマウマ
NSMT-M01825



観察内容

基本の項目

1. 観察した内容の説明：

ライオンとシマウマの頭骨の高さと幅の比率を調べました。高さと幅の一番多いい部分に線を引いて、その幅を測りました。赤い線は高さを、青い線は幅をあらわしています。

2. 観察した結果：

ライオンの高さ（赤）の距離：約 62mm、幅（青）の距離：約 58mm

ライオンの高さと幅の比率　62 : 58 ≒ 1 : 1

シマウマの高さ（赤）の距離：約 66mm、幅（青）の距離：約 30mm

シマウマの高さと幅の　66 : 30 ≒ 2 : 1

観察した内容には、何をどう調べたのかを書こう
観察した結果には、調べた結果を書こう
発見したことは、調べてみてわかったことを書こう
友だちに説明する時のように、
なるべく誰が見てもわかりやすく書くのがコツだよ

3. 発見したこと：

ライオンはほぼ縦横の比率が同じなのに対して、シマウマは幅の倍の長さがあることがわかりました。

高学年向けチャレンジ項目

4. 考えたこと：

ライオンの方が目が前を向いているのに対し、シマウマの方が横を広く見れるようになっています。目が前を向くためには、幅が広いほうが見えやすいのに対し、幅が狭くて薄いほうが横を見やすいと思いました。

5. 気になったこと：

・正面から見たときの比率が、横から見た時や後から見たときも同じなのか気になりました。
・他のライオンやシマウマも同じような比率なのか気になりました。
・他の肉食動物もライオンと同じように縦横の比率が１：１に近いのかが気になりました。
・他の草食動物もシマウマと同じように縦横の比率が違うのか気になりました。

© 般社団法人路上博物館 2021